

悩んでいる

こども・若者に対して、

*「私たちは」何ができますか？

いじめ
不登校
引きこもり
ニート
就職

* 私たちとは、この地域に生きる、行政・企業・親・支援者・地域住民といった、子ども・若者を取巻くすべての人々のことです。

昨年7月に「子ども若者支援推進法」が施行されました。この法律は、子ども・若者、社会を構成する重要な主体であるとして尊重し、子ども・若者の全体とその中でも困難を抱える各双方を支援する方向性をしめています。もはや、子ども・若者の課題を個別するのではなく社会全体で考え、支援していかなければいけない時代になってきました。またそのためネットワークづくりが必要です。そこで、この地域でもその機運を盛り上げるべく、有志により今回のフォーラムを実施する運びとなりました。

松下電器の創業者であり教育者・松下幸之助氏は著書の中で、「苗木を育てるためには副木（そえぎ）が必要です。すくすくまっすぐに育てるためには副木が必要なのです。」と語っています。

不登校が小中学校あわせて10万人をこえ、引きこもり・ニートが160万人をこえ、就労もできず、生きづらさや困難を抱えた若者が巷にあふれるなか、この地域にも多くの自立困難なこども・若者が存在しています。そんな彼らには、今、副木が必要です。多くの副木が力を合わせて、つまずきに苦しむ彼らに「ゆるやかな自信」を育み、自立できるよう支えていかなければなりません。

あなたにも出来ることがあるはずです。

今回のフォーラムでは、この地域で生きる私たち1人1人がこども・若者のためにできることを考えて頂きます。

第一部

トークセッション

「ゆるやかな自信」をつける場をつくるために

地域で自立支援活動を行う様々な支援者によるトークセッションを行います。
各現場の状況、また取組みを持ち寄り、皆さんとともに考えていきたいと思います。

| | |
|--------|-----------------------------|
| 山本 和枝 | あんだんて |
| 小藤省吾 | 半田商工会議所 ジョブカード運営委員 |
| 岩田 淳 | こころとまなびどっとこむ 理事 |
| 大久保 智規 | ちた地域若者サポートステーション 総括コーディネーター |
| 水野 尚美 | 共育ネットはんだ |
| 原田 正樹 | 日本福祉大学 トークセッションコーディネーター |

平成23年 **4月16日** (土曜日)

- ◆日時 13:00~16:00
- ◆会場 クラシティ半田3Fホール
- ◆参加費 500円

◆主催 こども・若者自立支援地域フォーラム実行委員会
NPO 法人エンド・ゴール
NPO 法人こころとまなびどっとこむ
NPO 法人地域福祉サポートちた

◆後援 半田市・東海市・大府市・知多市・常滑市
東浦町・阿久比町・武豊町・美浜町・南知多町・半田市教育委員会 (予定)

第二部

ディスカッション

パネラーとのグループディスカッション

トークセッションでお話したパネラーと参加者の皆さんでのディスカッションを実施します。普段感じていること・話を聞いて感じたことなど、お話できたらと思います。

お申し込み・お問い合わせは、

こども・若者自立支援地域フォーラム実行委員会事務局 ちた地域若者サポートステーション (NPO 法人エンド・ゴール) までご連絡ください。

電話/FAX 050-1183-1650 (4月16日フォーラムの件とお伝えください) WEB <http://chita.endgoal.net/>

※FAXでのお申し込みの場合は、裏面の申し込み用紙をご利用ください。